

2011年2月24日

報道関係者各位

東京大学海洋アライアンス

シンポジウム「我が国における海洋教育および研究のあり方」開催のお知らせ

東京大学海洋アライアンスは、日本財団からの助成を得て、「総合海洋基盤（日本財団）プログラム」を2008年3月に開始し、(1) 国際的かつ総合的な海洋管理をめざす「海洋基本法」を支える研究基盤の構築と、(2) 海洋政策の実現を担う人材の育成を設置目的として活動を進めてまいりました。文系理系を包含する200名を越える東京大学の研究者を基礎としておこなわれた3年間の成果および本年4月から始まる第2期における新たな展開を紹介し、横串型の海洋研究の展開と新たな人材の育成を議論するシンポジウム「我が国における海洋教育及び研究のあり方」を日本財団との共催で来る3月4日に開催いたします。つきましては、ぜひ記事掲載及び取材等をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

東京大学海洋アライアンス 日本財団 共同シンポジウム
総合海洋基盤（日本財団）プログラム
「我が国における海洋教育および研究のあり方」

日時：2011年3月4日（金）13:00～18:30

場所：東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1F「バウルーム」

参加費：無料

定員：150名

申込：参加登録サイト <https://www.webmasters.co.jp/utoa/event/>

主催：東京大学海洋アライアンス、日本財団

情報サイト：東京大学海洋アライアンスホームページ <http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/>

シンポジウムは下記プログラムのように四部編成になっております。

第一部では、海洋アライアンスの3年間の横串型活動を総括します。

第二部では、大学院生の専門分野を越えた履修認定プログラム「学際海洋教育プログラム」の成果を、主に、プログラムに参加した大学院生から紹介してもらいます。毎年50名を越える幅広い分野の大学院生が参加する横断型教育は、新たな人材育成を目指した本プログラムの大きな成果です。

第三部では、海外でおこなわれている取り組みやアライアンス活動への期待について、3名の外国人研究者に招待講演をしていただきます。

第四部では、海洋アライアンス活動の今後の展開、特に人材の育成に焦点を絞ったパネルディスカッションを、学外の幅広い分野からパネリストを招いて議論いたします。

<プログラム>

第1部 13:00~13:45 東京大学における海洋研究の横串型取り組み

司会：木暮 一啓（東京大学大気海洋研究所 教授）

1. 総合海洋基盤（日本財団）プログラムの展開
浦 環（東京大学生産技術研究所 教授）
2. 海洋政策学ユニットの成果と展望
城山英明（東京大学公共政策大学院 教授）
3. 学際海洋学ユニットの成果と展望
福代康夫（東京大学アジア生物資源環境研究センター 教授）
4. 横断的研究課題「イニシアチブ」の成果
許淑娟（東京大学公共政策大学院 非常勤講師（元特任講師：立教大学 准教授））

第2部 13:45~14:30 東京大学の大学院における海洋教育の学際的連携

司会：八木 信行（東京大学大学院農学生命科学研究科 特任准教授）

5. 大学院修士課程における横断型履修認定プログラム
木村伸吾（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
6. 海洋問題演習・インターンシップへの参加
持留宗一郎（東京大学公共政策大学院 専門職学位課程2年）
7. COP10 など国際集会への参加
三上翔太（東京大学大学院農学生命科学研究科 修士課程2年）

第3部 14:45~16:45 海外における学際的な海洋研究および海洋教育

司会：福島 朋彦（東京大学海洋アライアンス 特任准教授）

8. 中国における取り組み
李 巍然（Li Weiran：中国海洋大学副学長）
9. 米国における取り組み (1)
Robert Thompson（University of Rhode Island, Dept. of Marine Affairs, Chair）
10. 米国における取り組み (2)
Porter Hoagland（Woods Hole Oceanographic Institution,
Senior Research Specialist, Marine Policy Center）

第4部 17:00~18:30 横串型の海洋研究の展開と新たな人材の育成

司会：藤井 輝夫（東京大学生産技術研究所 教授）

11. 東京大学海洋アライアンスの新たな展開
浦辺徹郎（東京大学大学院理学系研究科 教授）
12. パネル討論「大学に期待するもの」
ーパネリストー（五十音順，敬称略）
岩田眞二郎（株式会社 日立製作所 執行役常務）
海野 光行（日本財団 海洋グループ長）
小池 勲夫（文部科学省 科学技術・学術審議会 海洋開発分科会会長）

近藤 和行（株式会社 読売新聞東京本社 編集委員）
野村 一郎（国連食糧農業機関（FAO）前水産局長、東京海洋大学 顧問）
三上 正裕（外務省 国際法局国際法課長）
米田 浩（国土交通省 総合政策局海洋政策課長）

<問い合わせ先>

東京大学大気海洋研究所内、海洋アライアンス事務局

<会場地図>

通 称 日本財団（ニッポンザイダン）
名 称 財団法人 日本船舶振興会（The Nippon Foundation）
所 在 地 〒107-8404
東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号
日本財団ビル
総合案内 TEL:03-6229-5111 FAX:03-6229-5110



○地下鉄銀座線「虎ノ門駅」

3番出口より徒歩5分、出口より前方、歩道橋の向こうに日本財団の看板が見えます。

○地下鉄銀座線・南北線「溜池山王駅」

9番出口より徒歩5分、外堀通りを虎ノ門方面へ直進右手ガソリンスタンドの先の8階建てのビルです。

○地下鉄丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」

3番出口より徒歩6分、国会記者会館を左折、内閣府下の交差点を越え、外堀通りを渡った正面の8階建てのビルです。